

# 茨城の畜産

令和7年3月

茨城県農林水産部畜産課

## <目次>

1	農業産出額に占める畜産の位置	1
2	農業産出額に占める畜種別の位置	2
3	乳用牛	3
4	肉用牛	6
5	豚	9
6	採卵鶏	11
7	肉用鶏	12
8	飼料	13
9	公共牧場・遊休農地放牧	15
10	銘柄畜産物	16
11	家畜衛生	21
12	その他	23
13	畜産行政組織	25

# 1 農業産出額に占める畜産の位置

茨城県における令和5年の農業産出額は4,536億円で、前年に比べ152億円(3.5%)増加した。これは主に、米の産出額が92億円、豚の産出額が75億円、野菜類の算出額が53億円増加したことによる。

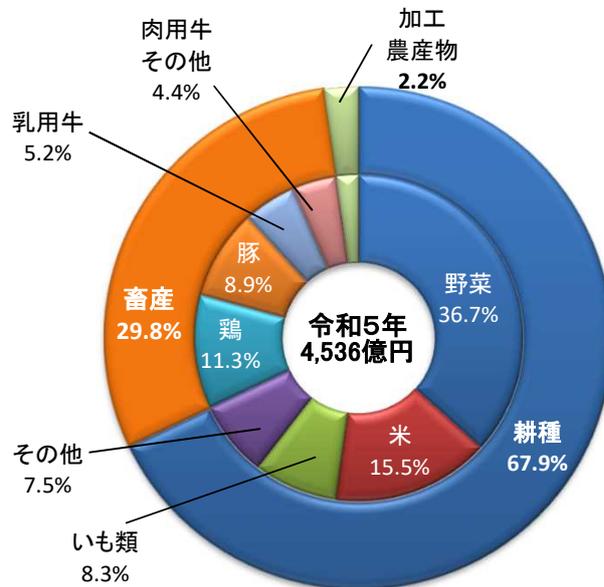
畜産産出額は1,353億円で、前年に比べ39億円(3.0%)増加した。これは主に、豚の産出額が増加したことによる。

図1の部門別の構成においては、耕種部門は3,082億円で全体の67.9%を占め、畜産部門は1,353億円で29.8%となっており、畜産部門の構成比は前年と同程度である。

## <各畜種別の算出額の傾向>

- ・肉用牛は196億円で、前年に比べ8億円(4.3%)増加した。
- ・乳用牛は236億円で、前年に比べ13億円(5.8%)増加した。
- ・豚は405億円で、前年に比べ75億円(22.7%)増加した。
- ・鶏は514億円で、前年に比べ58億円(10.1%)減少した。

図1 農業産出額の部門別構成



<農林水産統計(農業産出額(都道府県別))>

表1 茨城県の個別農産物順位(令和5年)

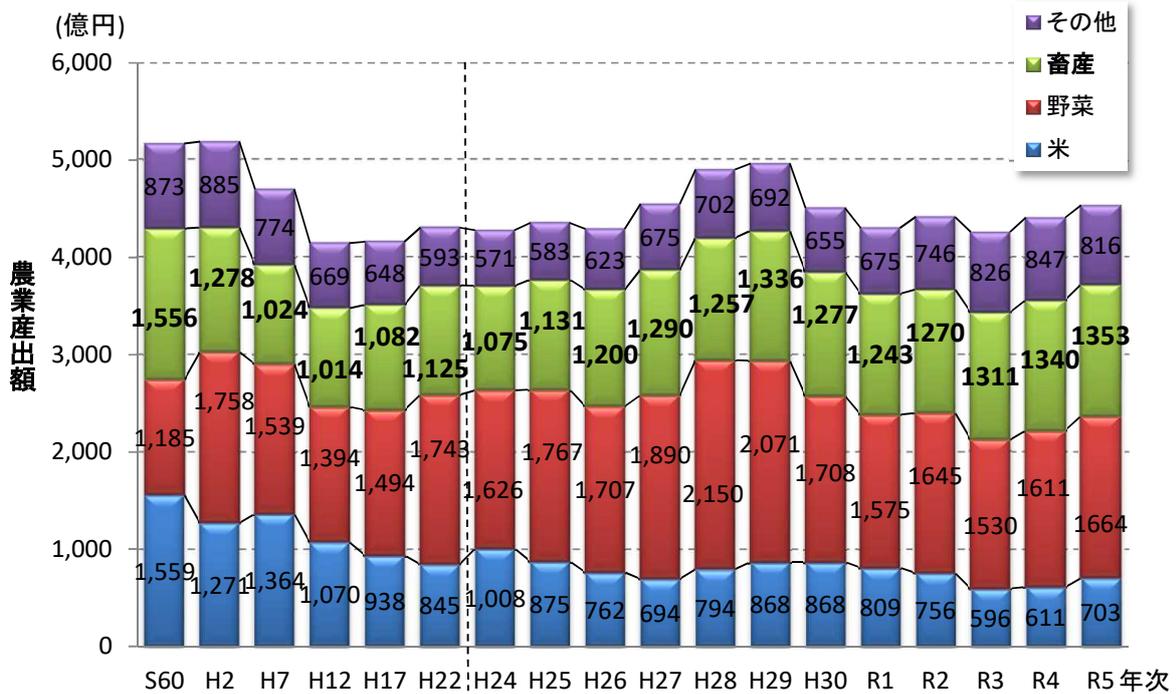
4,536 (億円)

順位	農産物名	産出産額 (億円)	構成比 (%)
1	米	703	15.5
2	鶏卵	460	10.1
3	豚	405	8.9
4	かんしょ	343	7.6
5	生乳	226	5.0
6	肉用牛	196	4.3
7	ピーマン	143	3.2
8	メロン	142	3.1
9	ねぎ	138	3.0
10	はくさい	123	2.7

<農林水産統計

(農業産出額(都道府県別))>

図2 年次別農業産出額の推移

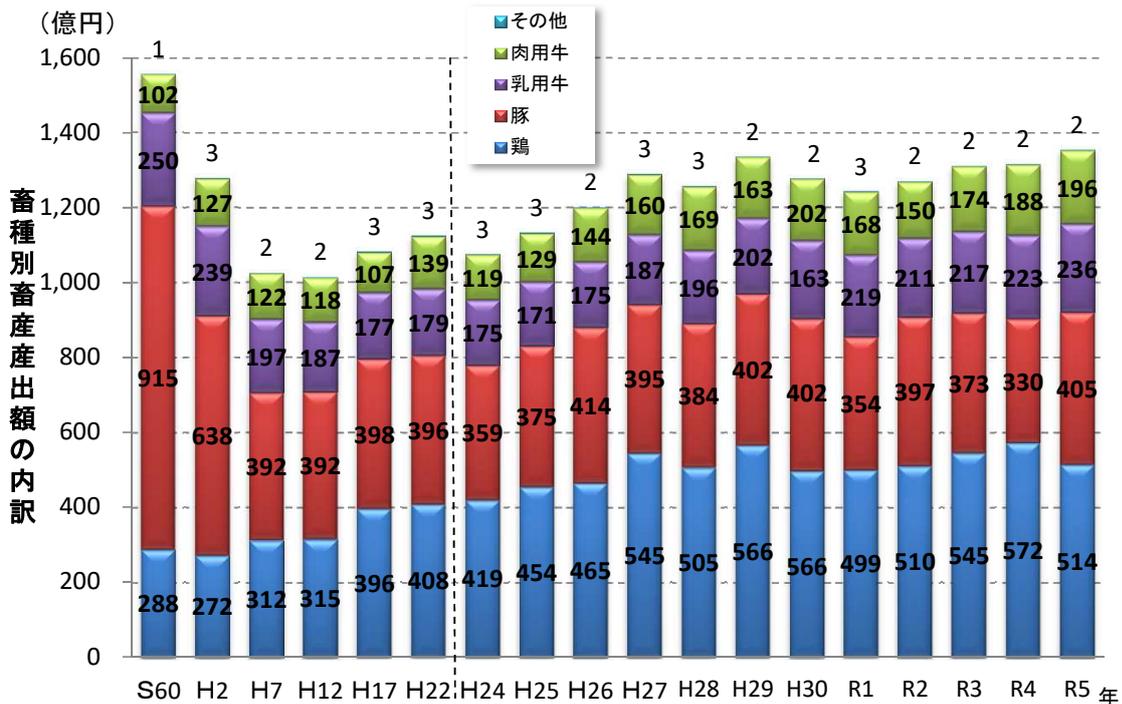


<農林水産統計(農業産出額(都道府県別))>

## 2 農業産出額に占める畜種別の位置

- ア 乳用牛:産出額は、236億円で、前年に比べ13億円(5.8%)増加した。
- イ 肉用牛:産出額は、196億円で、前年に比べ8億円(4.3%)増加した。
- ウ 豚 :産出額は、405億円で、前年に比べ75億円(22.7%)増加した。
- エ 鶏 :産出額は、514億円で、前年に比べ58億円(10.1%)減少した。

図3 畜種別畜産産出額の内訳

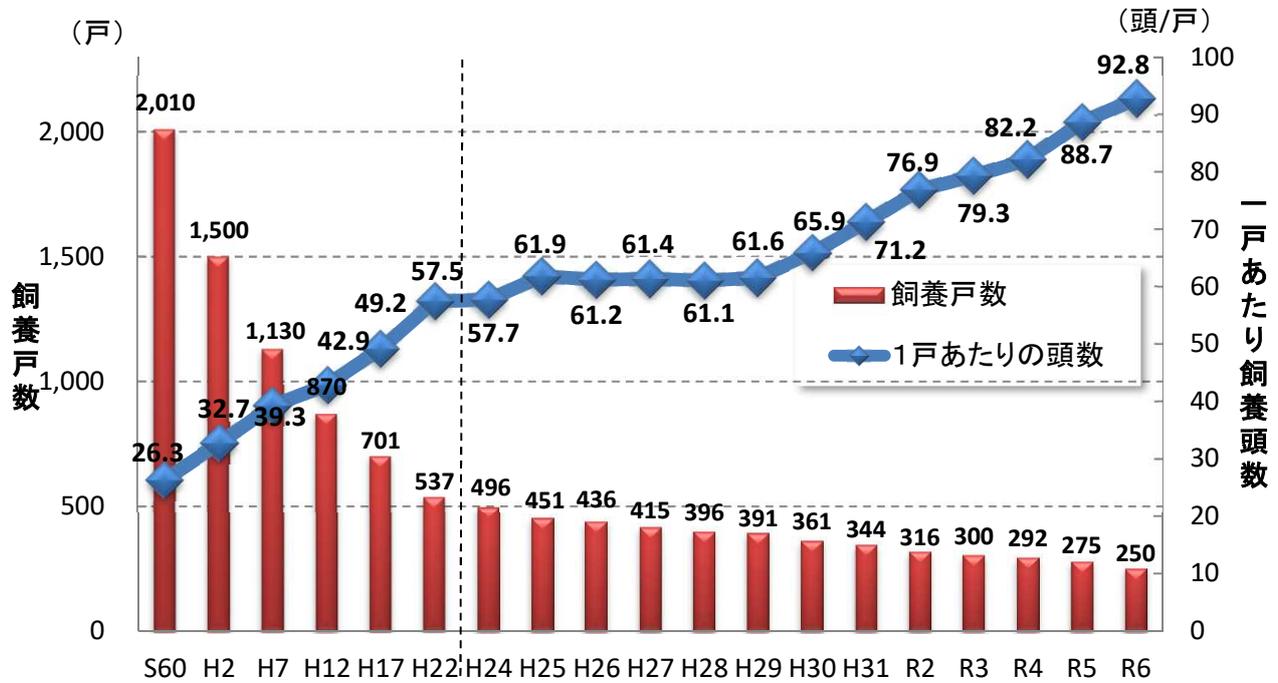


<農林水産統計(農業産出額(都道府県別))>

### 3 乳用牛

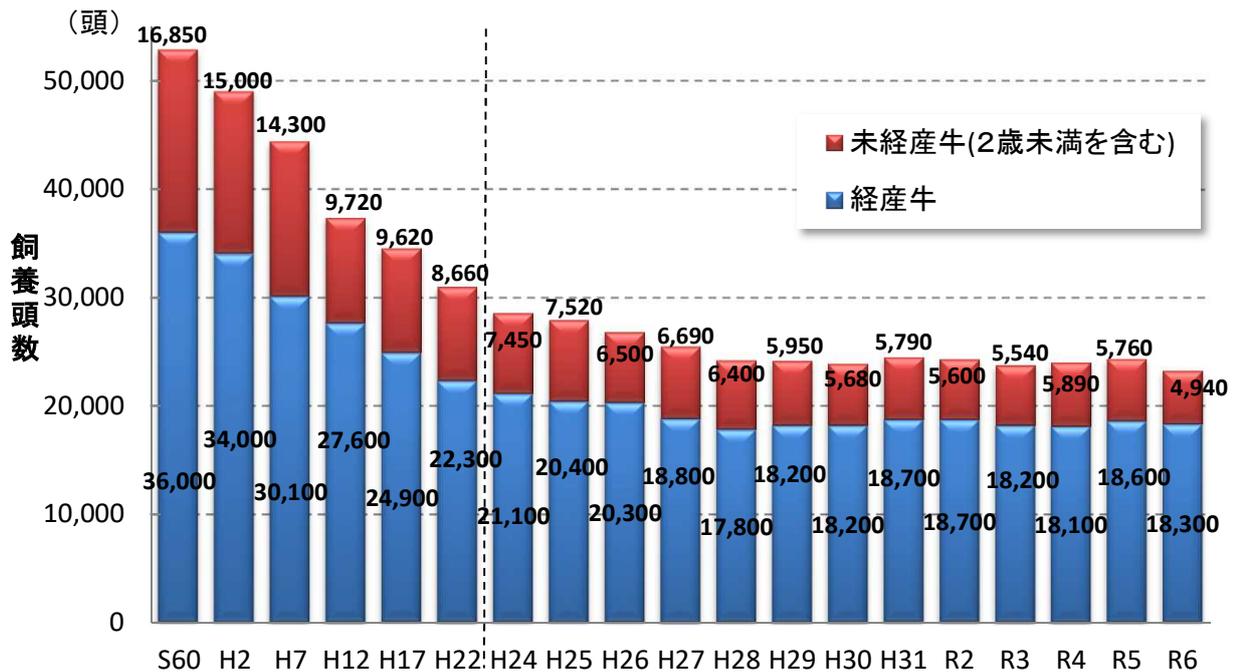
令和6年2月1日現在の飼養戸数は250で、前年に比べ9.1%減少した。飼養頭数は23,200頭で前年に比べ4.9%減少した。1戸当たりの飼養頭数は92.8頭で4.6%増加した。

図1 飼養戸数と1戸あたりの飼養頭数



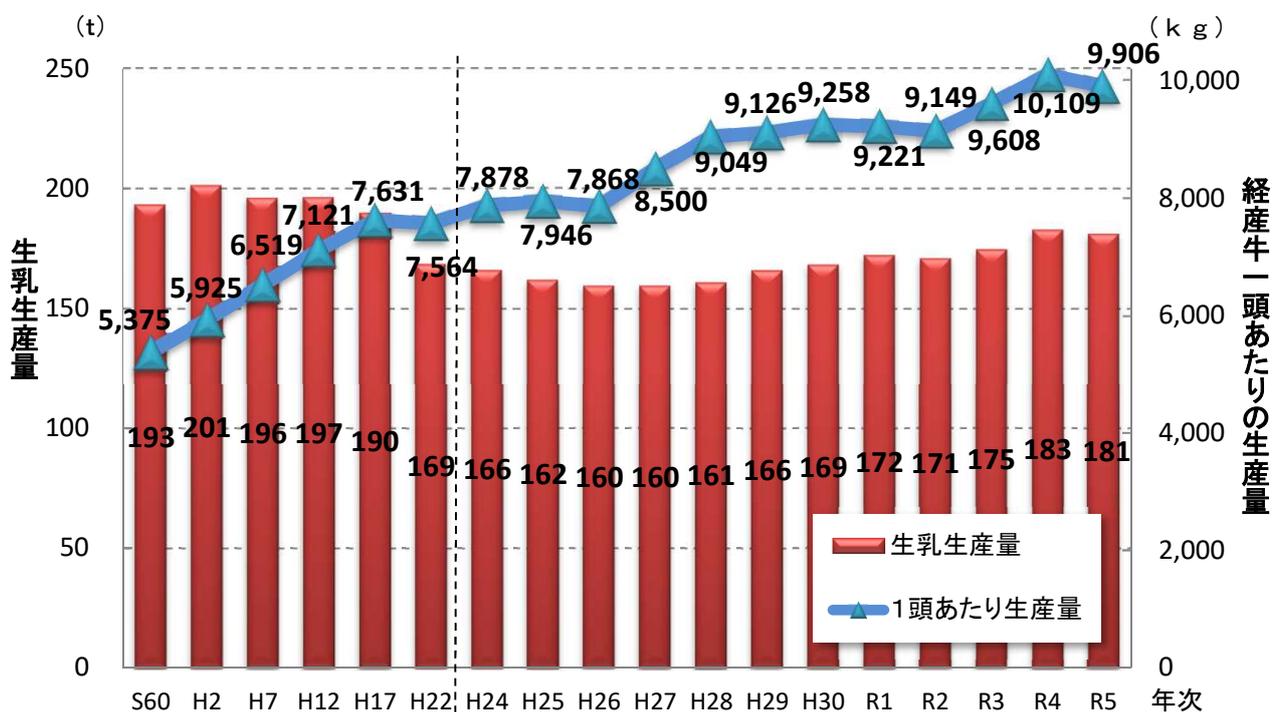
<農林水産統計(畜産統計) 各年2月1日現在>

図2 飼養頭数



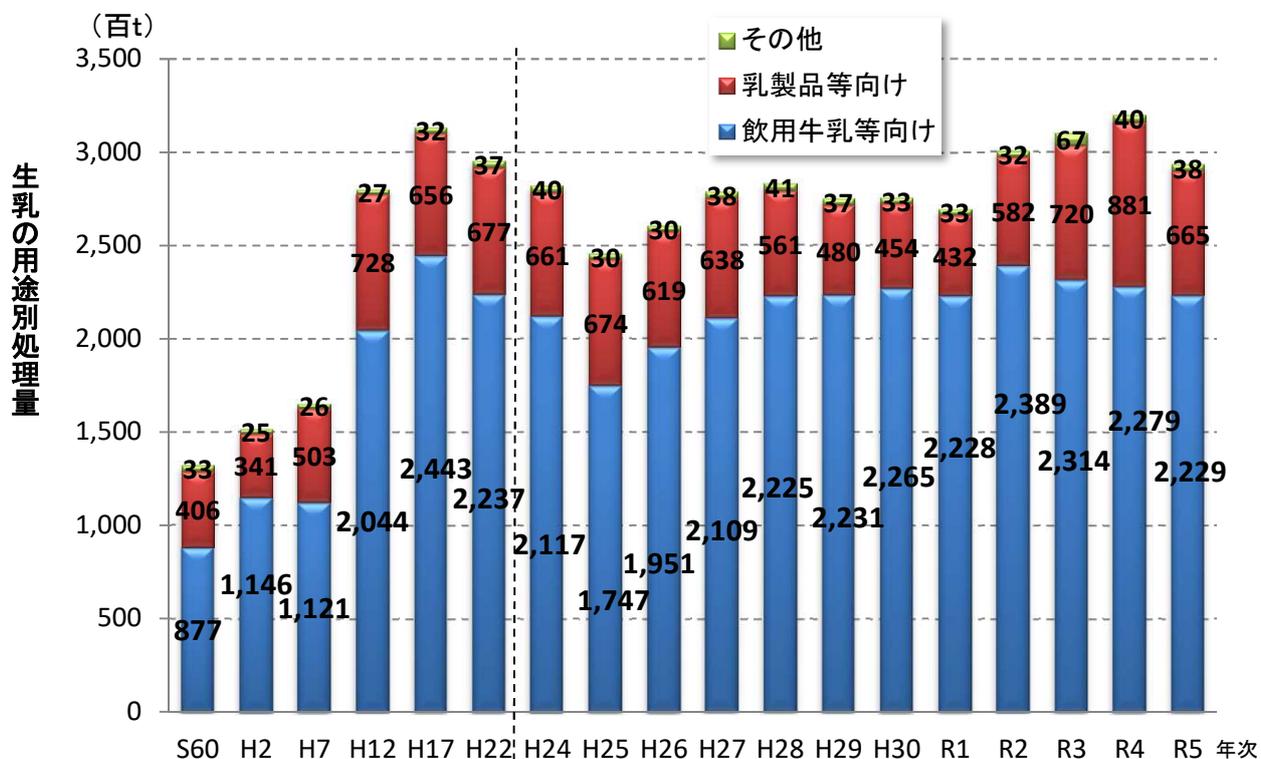
<農林水産統計(畜産統計) 各年2月1日現在>

図3 生乳生産量と経産牛1頭あたり生産量(茨城県)



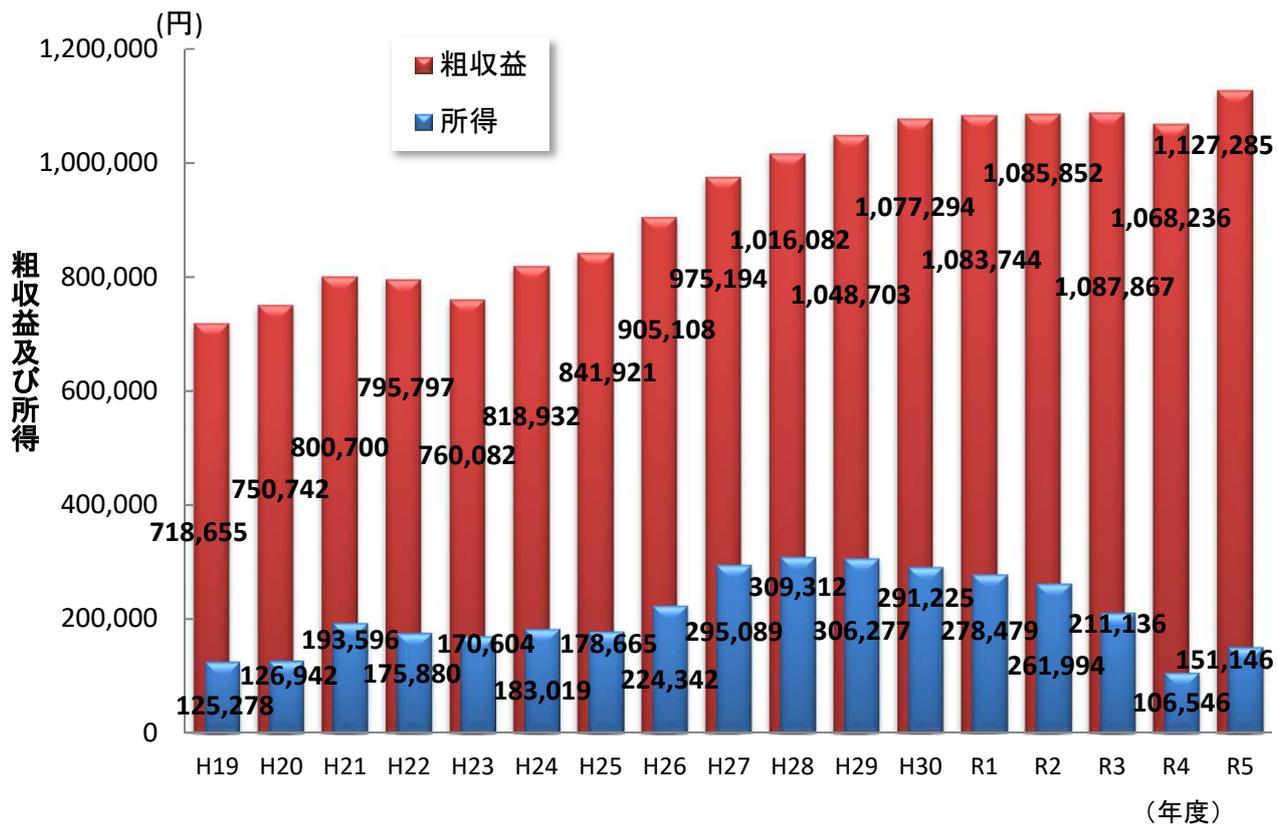
農林水産統計<牛乳乳製品統計>

図4 生乳の用途別処理量(茨城県)



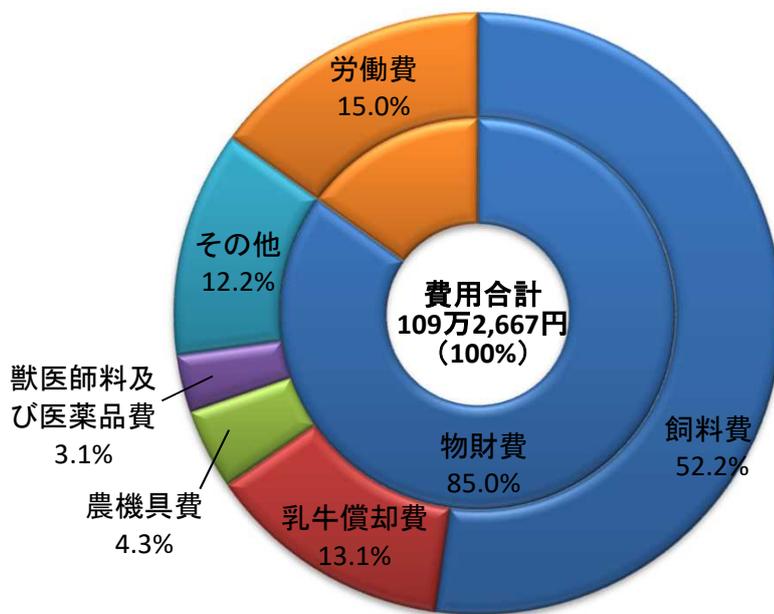
農林水産統計<牛乳乳製品統計>

図5 粗収益及び所得(搾乳牛1頭あたり、全国平均)



<農林水産統計(畜産物生産費調査)>

図6 令和5年度生産費用(搾乳牛通年換算1頭あたり、全国平均)



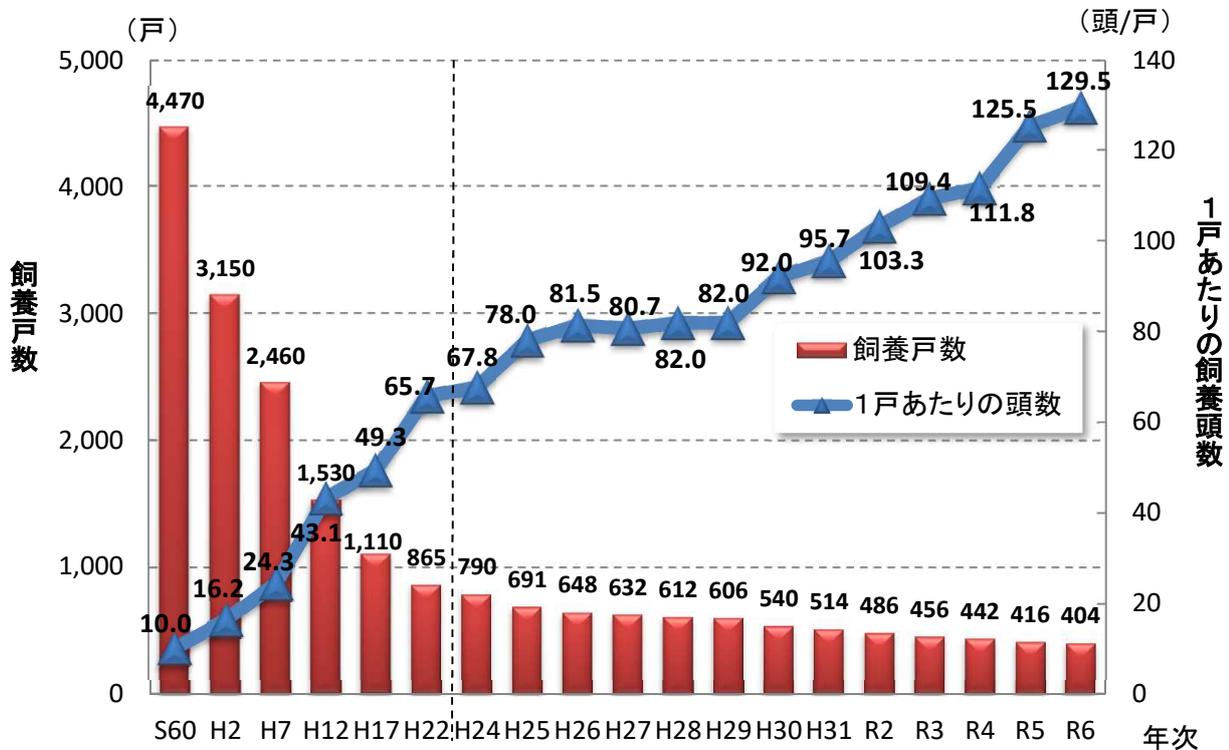
<農林水産統計(畜産物生産費統計)>

## 4 肉用牛

令和6年2月1日現在の飼養戸数は404戸で前年に比べ2.9%減少し、飼養頭数は52,300頭で前年に比べ0.2%増加した。

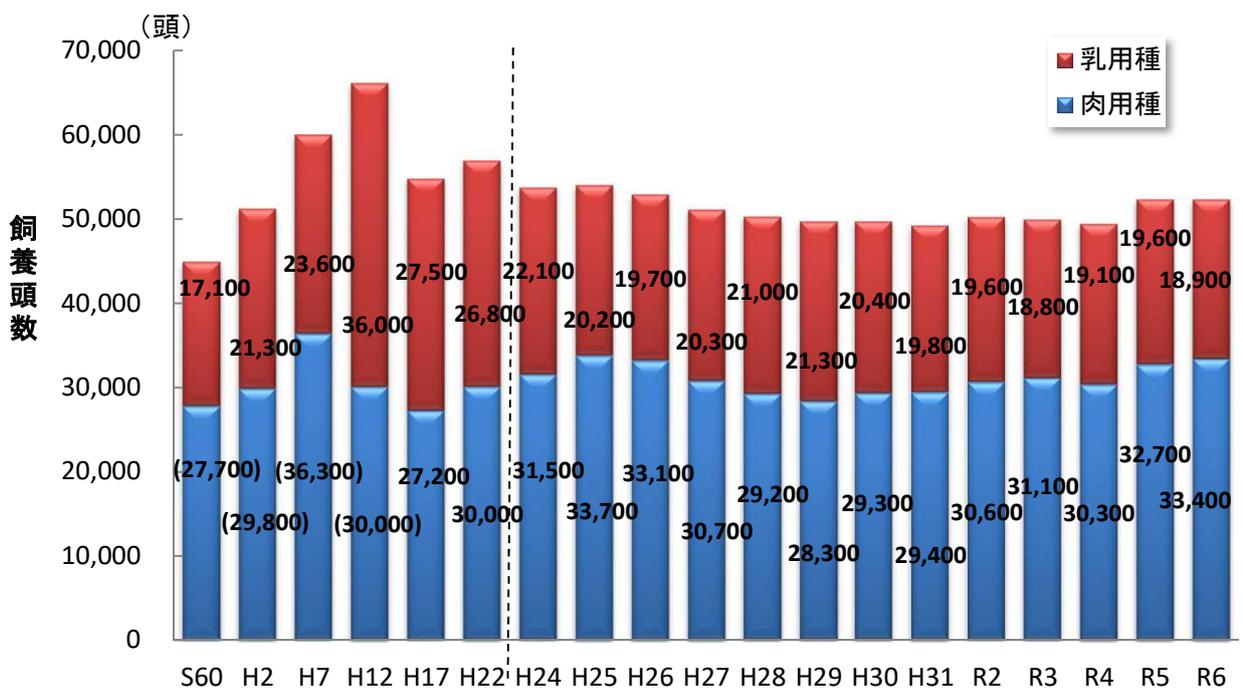
この結果、1戸当たりの飼養頭数は129.5頭となり、前年に比べ3.2%増加した。

図1 飼養戸数と1戸あたりの飼養頭数(茨城県)



<農林水産統計(畜産統計) 各年2月1日現在>

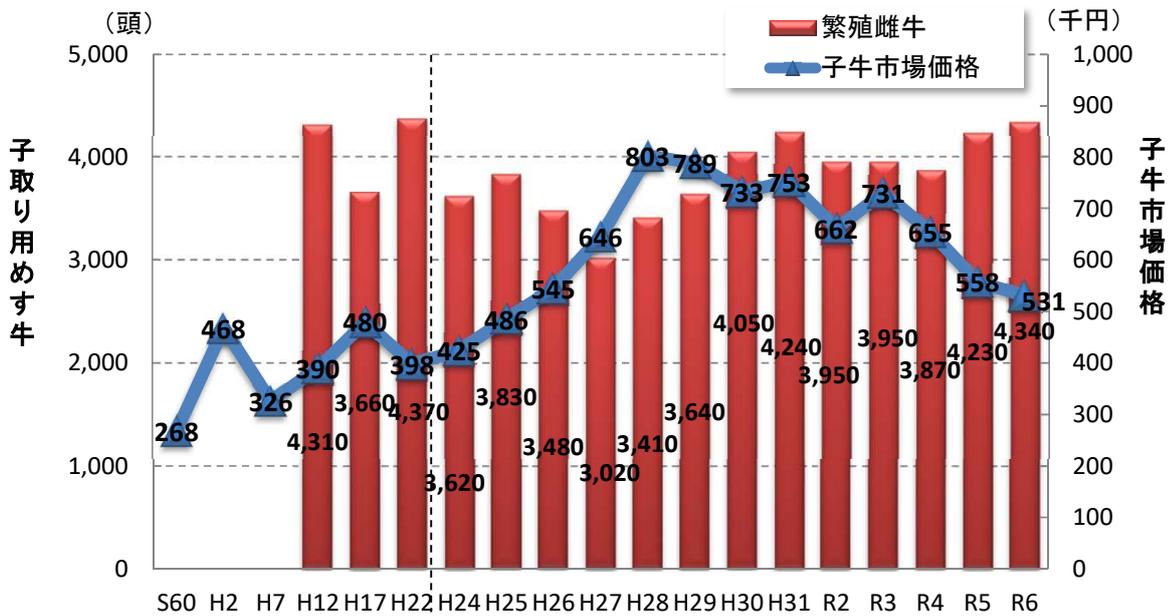
図2 飼養頭数(茨城県)



<農林水産統計(畜産統計) 各年2月1日現在>

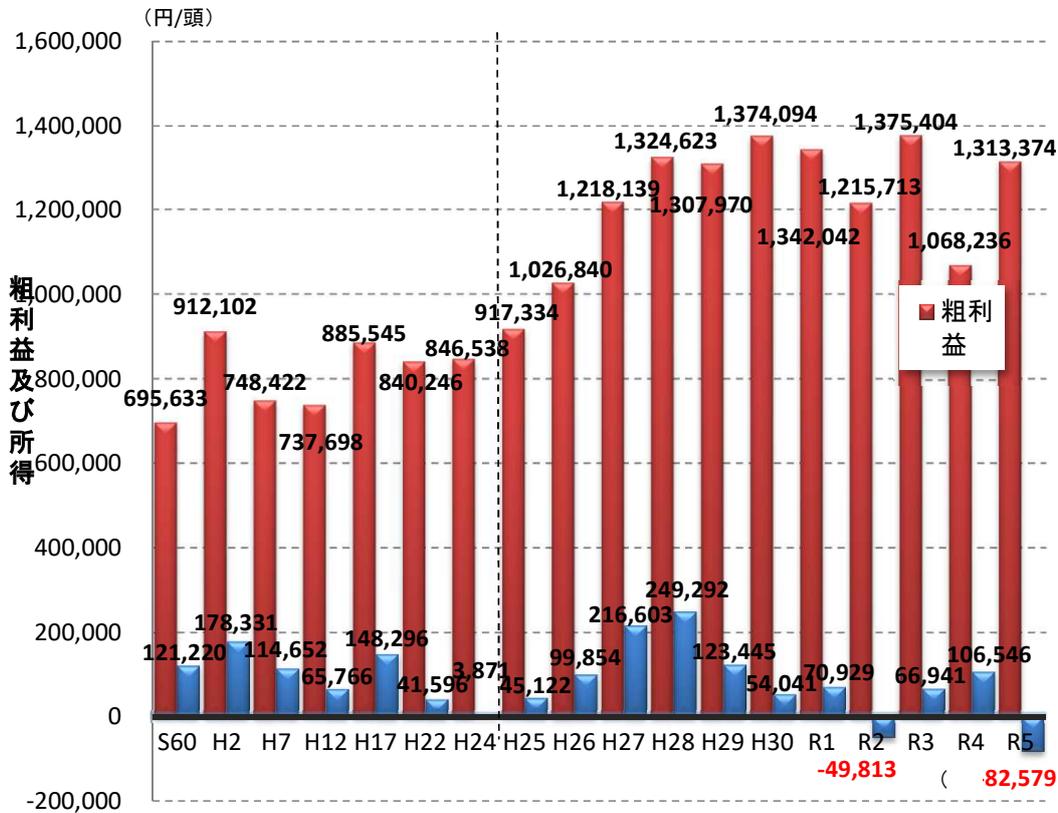
(S60~H12の肉用種: 総頭数-乳用種頭数)

図3 子取り用めす牛(黒毛和牛)頭数と子牛市場価格



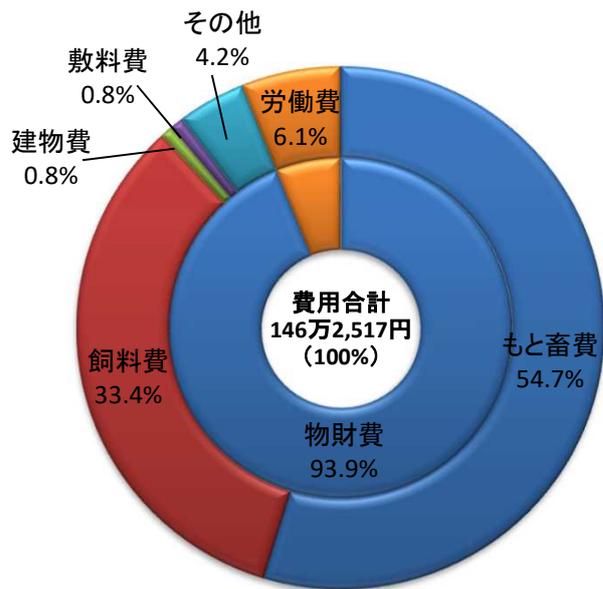
＜農林水産統計(畜産統計)＞＜畜産課調べ＞  
 頭数:各年2月1日現在 市場価格:各年統計(S60～H12は子取り用めす牛の統計値なし)

図4 粗利益及び所得(去勢若齢肥育牛生産費1頭あたり、全国平均)



＜農林水産統計(畜産物生産費統計)＞

図5 令和5年度生産費の主要費目の構成割合（去勢若齢肥育牛1頭当たり）



<農林水産統計(畜産物生産費統計)>

注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

# 5 豚

令和6年2月1日現在の飼養戸数は208戸で前年に比べ8.0%減少し、飼養頭数は424,000頭で前年に比べ5.7%減少した。この結果、1戸当たりの飼養頭数は2038.5頭であった。

図1 飼養戸数と1戸あたり飼養頭数

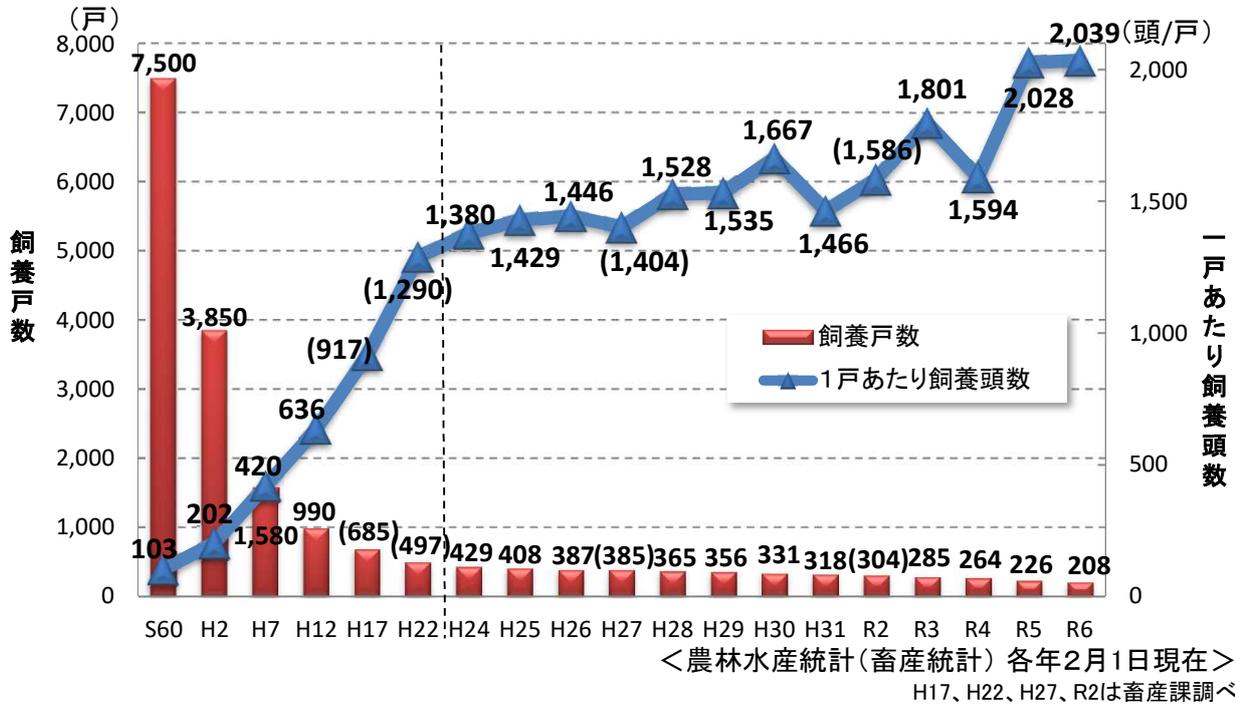


図2 飼養頭数

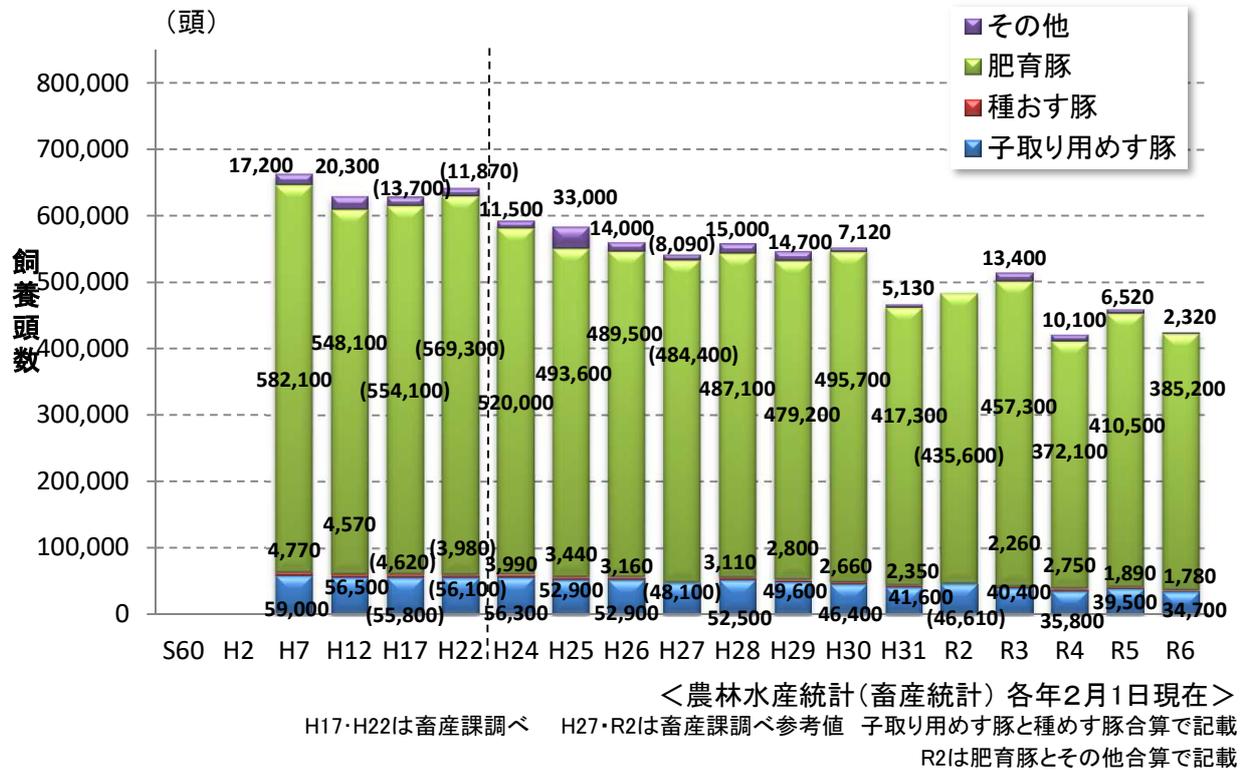
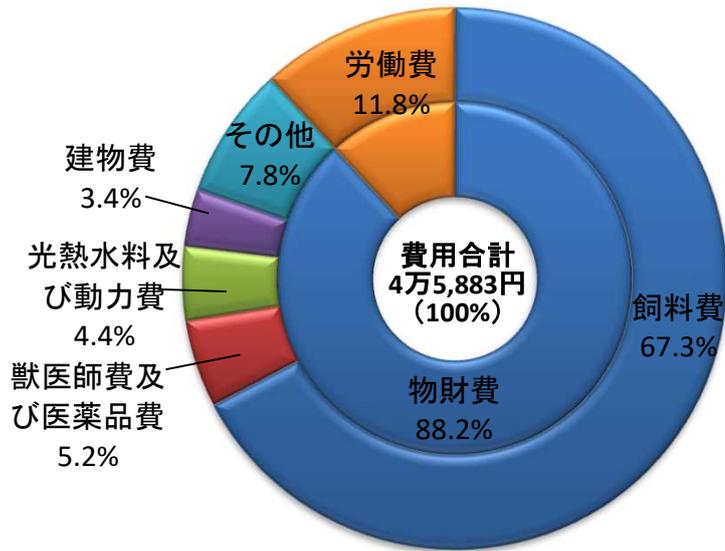
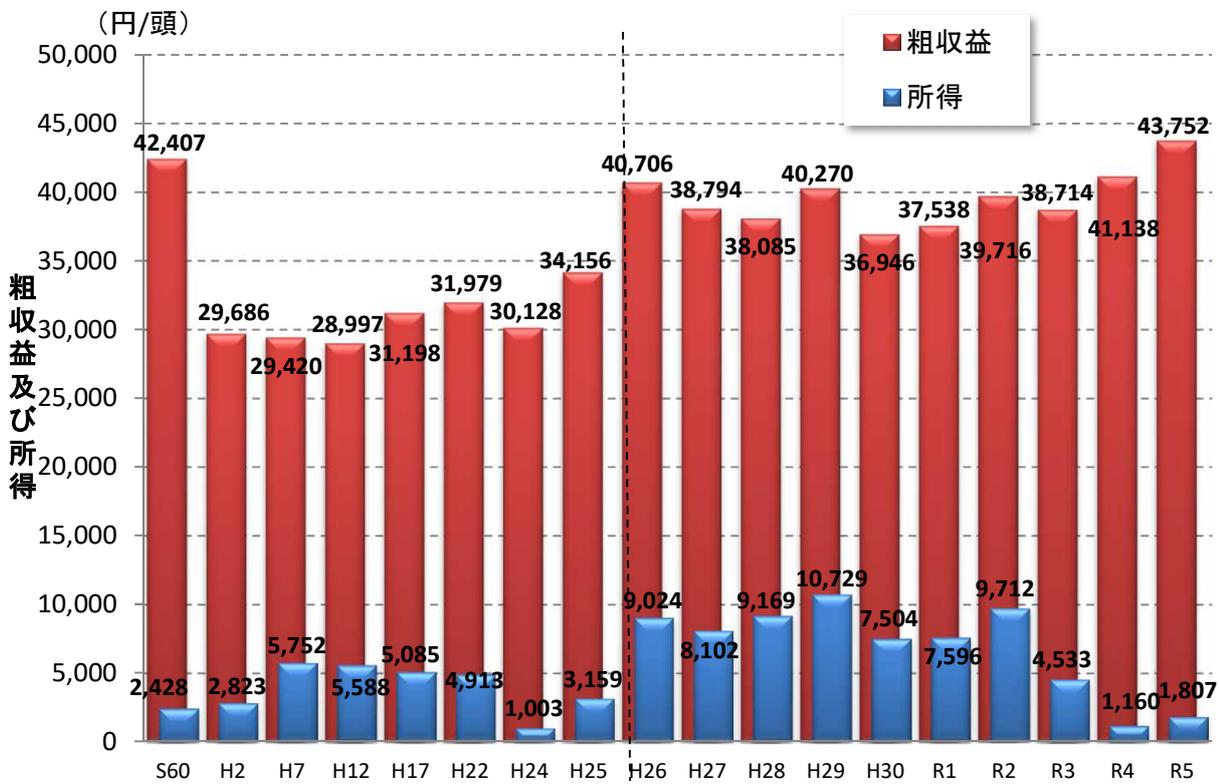


図3 令和5年度生産費における主要費目の構成割合(肥育豚1頭当たり)



＜農林水産統計(畜産物生産費調査)＞  
注: 飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

図4 粗収益及び所得(肥育豚1頭あたり、全国平均)

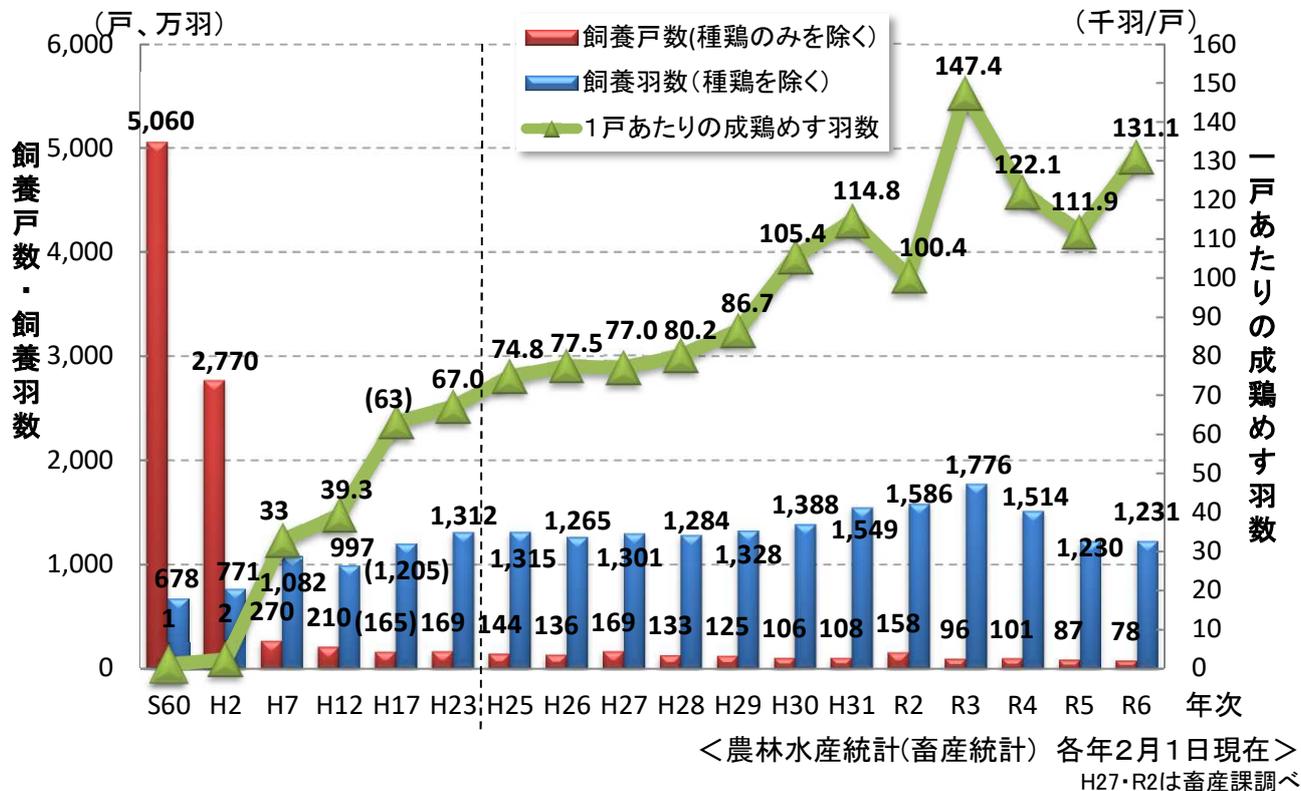


＜農林水産統計(畜産物生産費調査)＞

## 6 採卵鶏

令和6年2月1日現在の飼養戸数は83戸(うち種鶏5戸)で前年に比べ10.8%減少し、飼養羽数は12,310千羽(うち種鶏201千羽)で前年に比べ2.7%減少した。この結果、1戸当たりの成鶏めす羽数は131.1千羽となった。

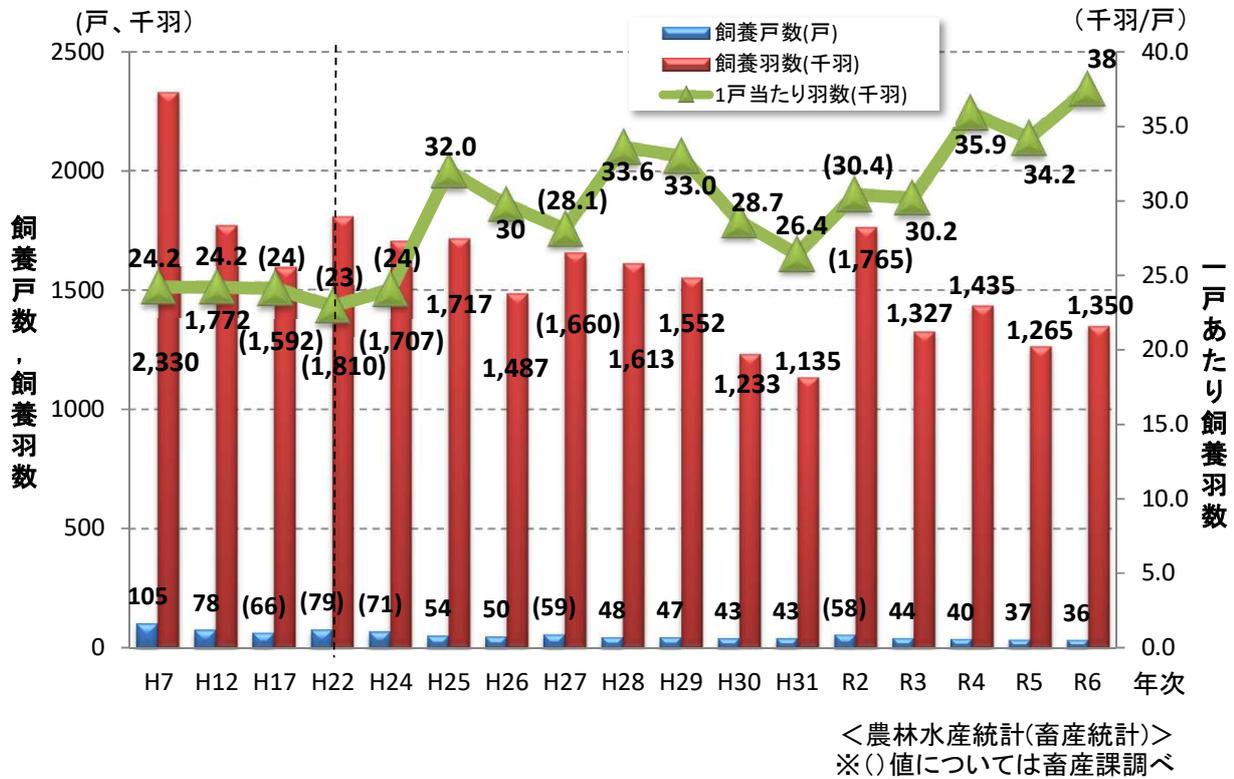
図1 飼養戸数及び1戸あたり飼養羽数(茨城県)



## 7 肉用鶏

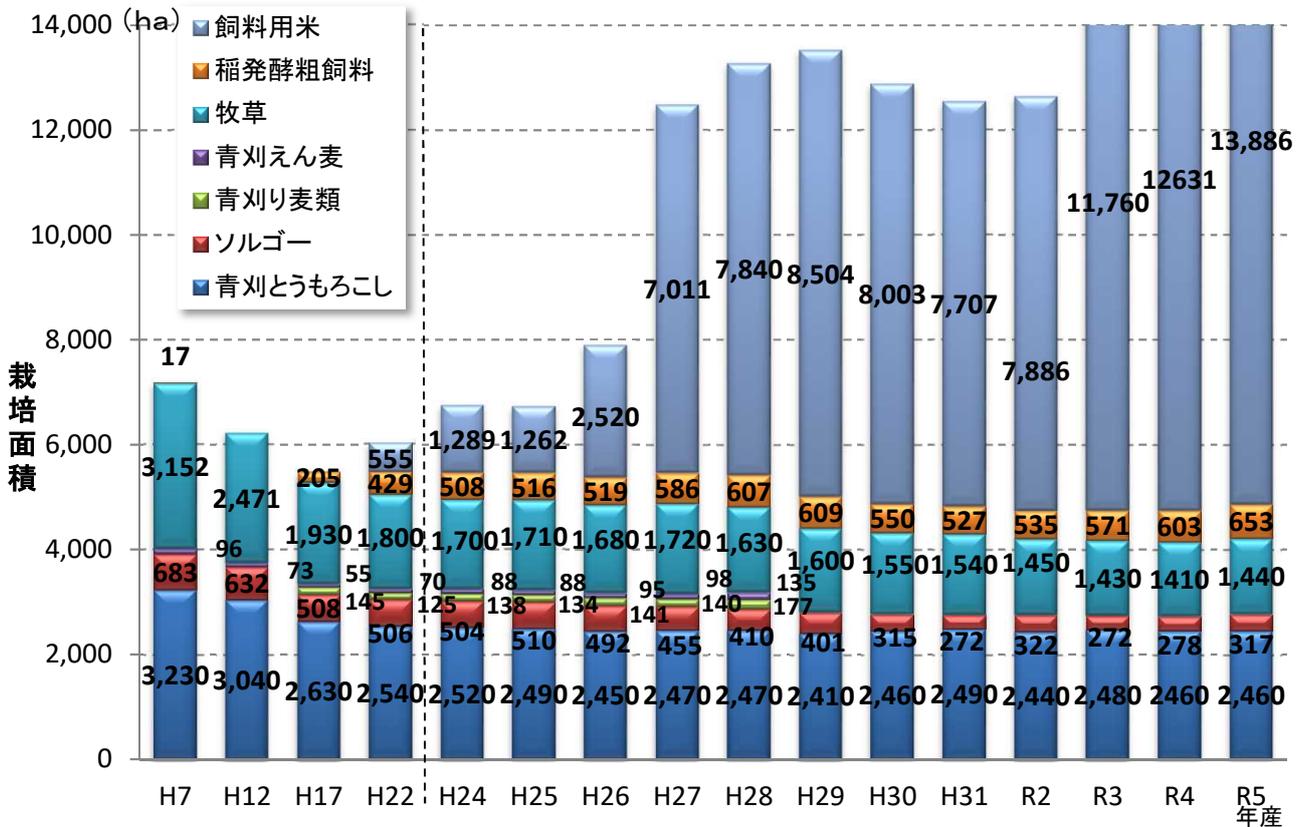
令和6年2月1日現在の飼養戸数は36戸で前年に比べ2.8%減少し、飼養羽数は1,350千羽で前年に比べ6.7%増加した。この結果、1戸当たりの飼養羽数は37.5千羽となった。

図1 飼養戸数、飼養羽数および1戸あたり飼養羽数



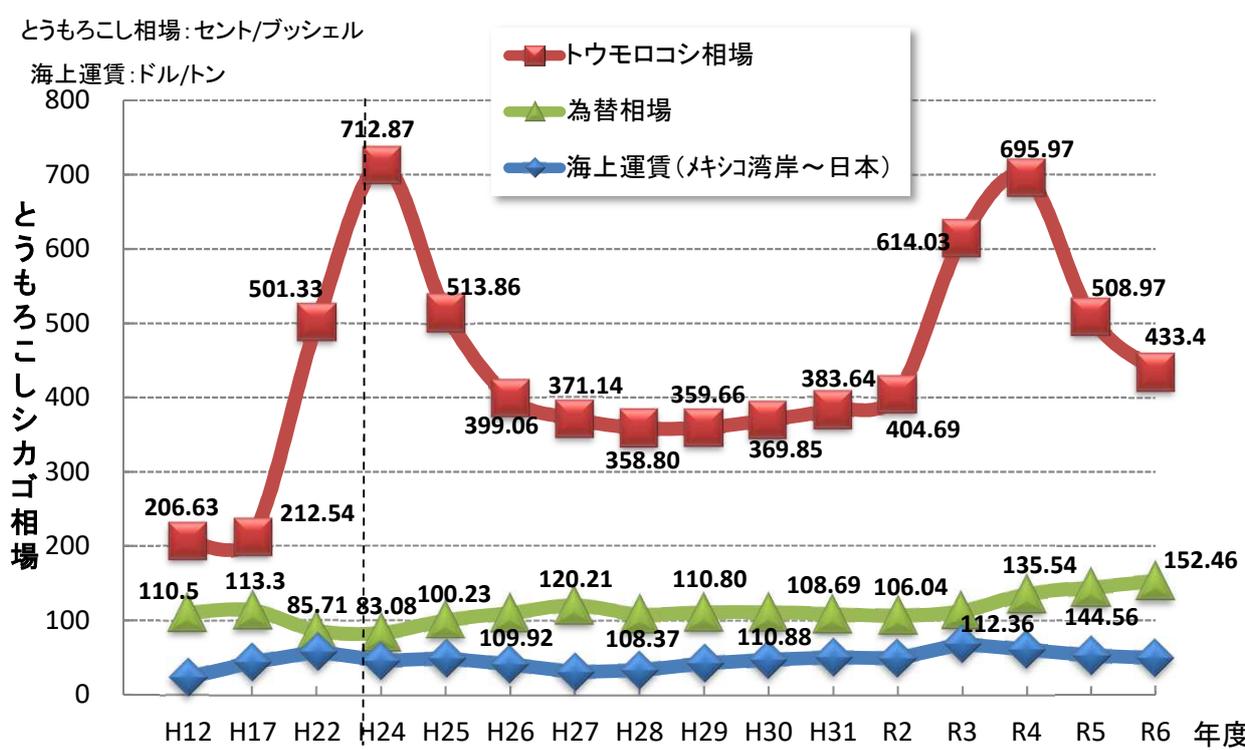
# 8 飼料

図1 飼料作物栽培面積(茨城県)



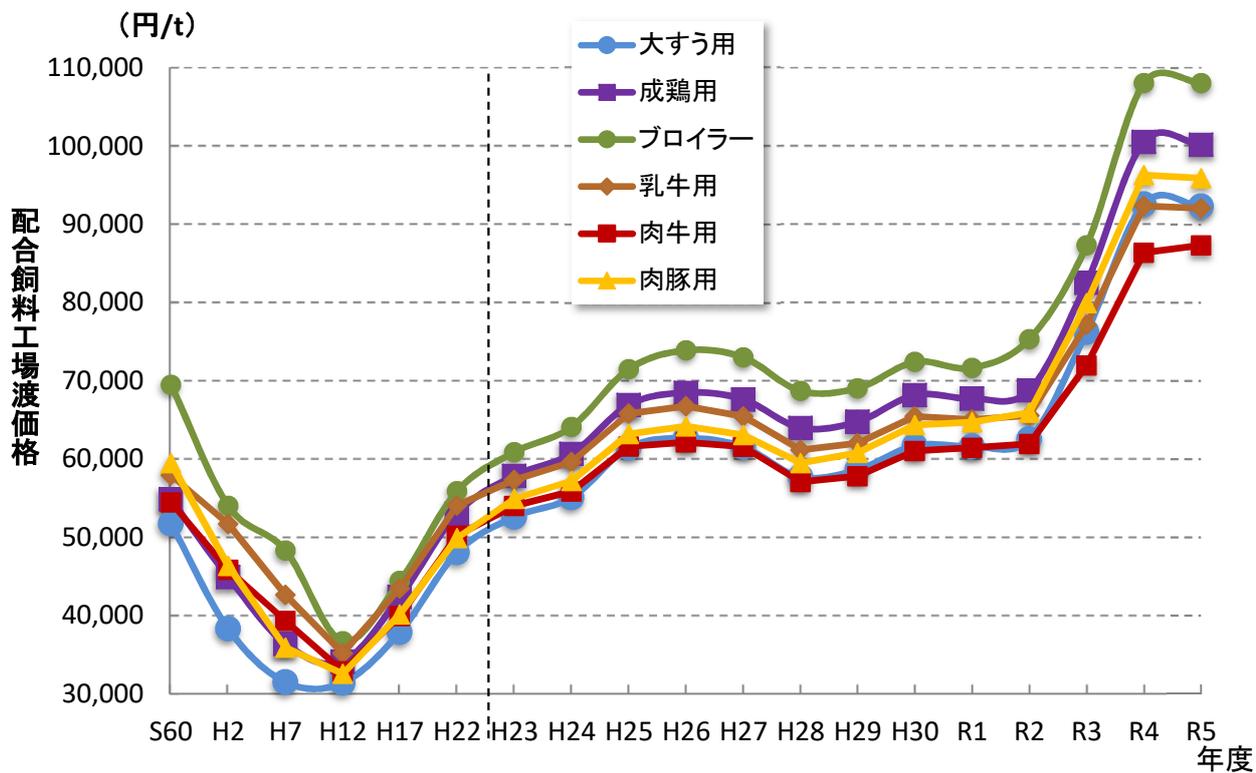
＜農林水産統計(茨城の作物統計)＞  
 ※稲発酵粗飼料H17年～畜産課調べ ※飼料用米は畜産課調べ

図2 飼料関係国際市況等



参考:1米セント /米ブッシェル = 0.283775918 U.S. Dollars / m3  
 < 社団法人 配合飼料供給安定機構 >

図3 配合飼料工場渡価格(全国平均)



<社団法人 配合飼料供給安定機構>

※配合・混合飼料及び単体飼料を製造している工場を対象として調査した工場出荷段階の価格

## 9 公共牧場・遊休農地放牧

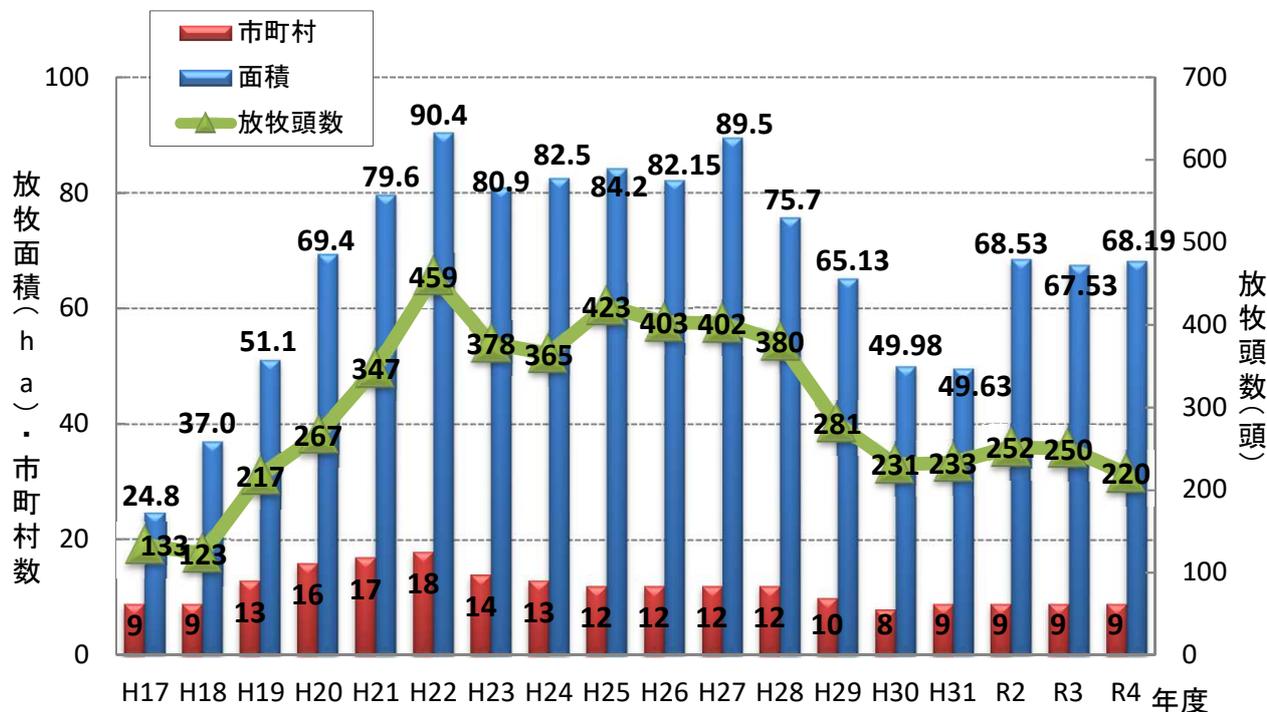
表1 公共牧場及び共同利用牧場の利用状況

令和元年7月1日現在

牧場名	所在地	管理主体	牧場面積	放牧形式	放牧頭数	
					乳牛	肉牛
米平公共育成牧場	高萩市	県	146.0	夏期		71
常陸大宮市営牧場	常陸大宮市	常陸大宮市	52.1	休止中		
小勝放牧場	城里町	水戸地方広域事務組合 (和牛改良組合)	34.0	夏期		18
鍛冶屋沢放牧場			14.0	夏期		6
矢の目沢放牧場			17.0	夏期		4
大子ふれあい牧場	大子町	大子町	70.0	周年	21	26

<畜産課調べ>

図1 遊休農地放牧頭数等 ※令和4年度で調査終了



<畜産課調べ>

# 10 銘柄畜産物

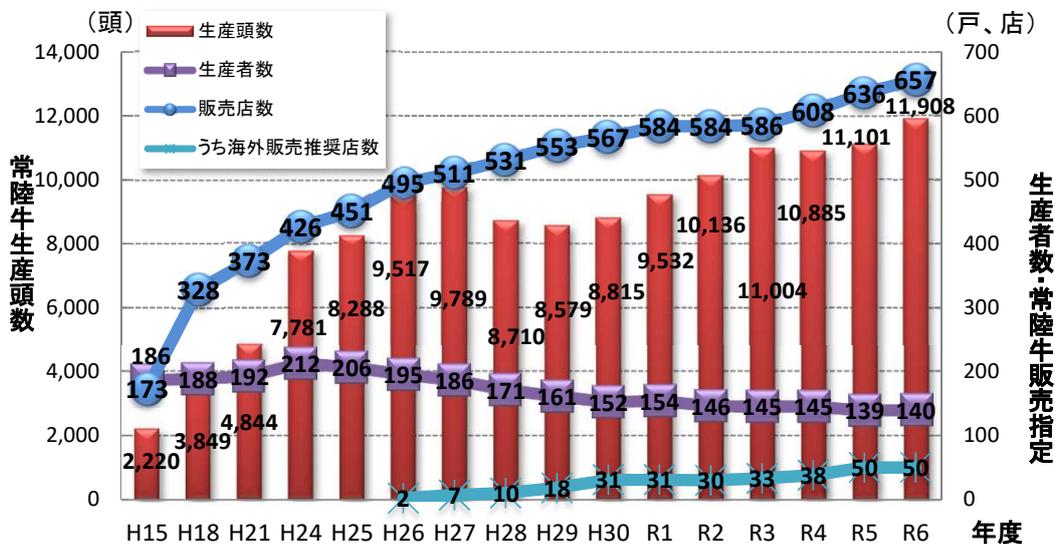
## (1) 常陸牛

県内の指定生産者が飼育した和牛のうち、食肉市場で肉質等級が4以上になった牛肉に『常陸牛』の刻印を押して販売しています。肉質はきめ細かく、良質の脂肪が筋肉中に「霜降り」状に沈着し、柔らかく、豊かな風味があります。

また、これまで和牛では「霜降り度合」を重視した評価基準で格付けされてきましたが、常陸牛は「霜降り度合」から「おいしさ重視」へとシフトチェンジするため、風味や口どけの良さに関わる「オレイン酸」や、口当たりや食感の良さに関わる「きめ細かい霜降り(小ザシ)」など和牛のおいしさにこだわった全国初の基準で厳選した最高峰ブランド「常陸牛煌」の販売を令和5年9月から開始しています。

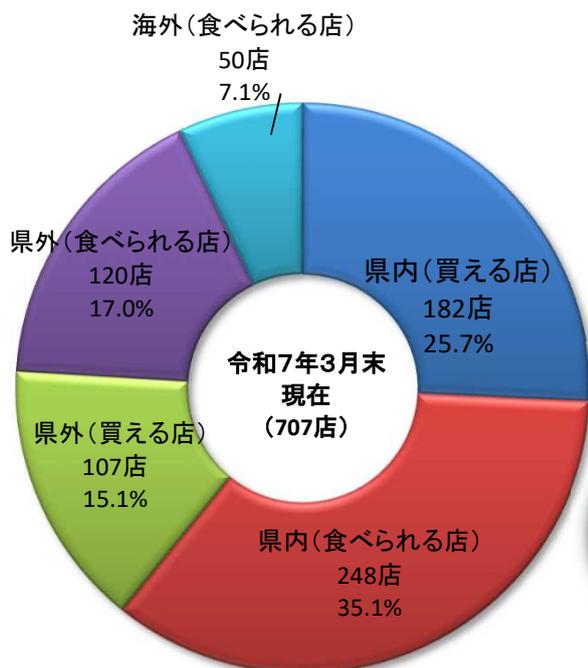
さらに、「常陸牛煌」の販売の中で得られた品質評価の考え方にに基づき、令和7年4月よりオレイン酸と月齢について、本県独自の基準を設け、基準をクリアした常陸牛を県が認定する制度を始めました。

図1 常陸牛の生産頭数及び販売指定店



<畜産課調べ>

図2 常陸牛販売指定店の内訳(令和7年3月末現在)



<海外販売推奨店数> (店)

輸出国	R3	R4	R5
ベトナム	17	21	20
タイ	7	8	13
シンガポール	3	3	3
フィリピン			6
アメリカ	6	6	8
合計	33	38	50



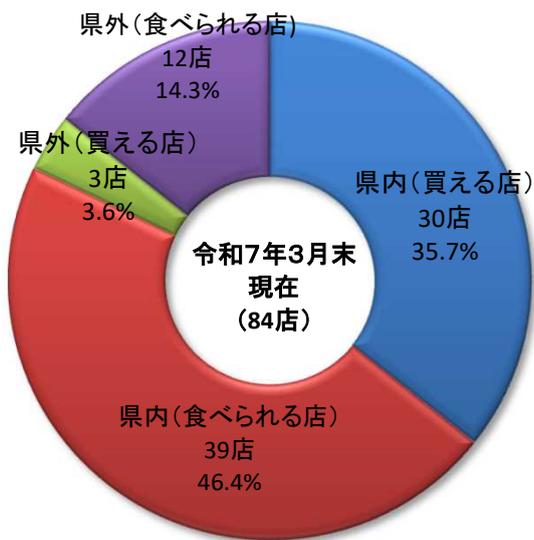
<畜産課調べ>

## (2) 常陸の輝き

平成30年12月に販売を開始した茨城県の新銘柄豚です。

茨城県畜産センターが開発したデュロック種の系統豚「ローズD-1」を交配した三元豚を専用の飼料でじっくり育て上げることで、やわらかく、旨味があり、香りの良い肉質を実現しました。令和7年3月時点での生産頭数は18,472頭、生産者数は7戸です。

図1 常陸の輝き販売店の内訳(令和7年3月末現在)



<畜産課調べ>

### (3)ローズポーク

ローズポークは、「育てる人(=指定生産者が生産)」「育てる豚(=系統豚ローズを親として生産)」「育てる飼料(=ローズ専用飼料を給与)」「販売する人(=お届けする販売店を限定)」を指定した、いばらきの誇る、高品質な銘柄豚です。

図1 ローズポークの生産頭数及び販売指定店

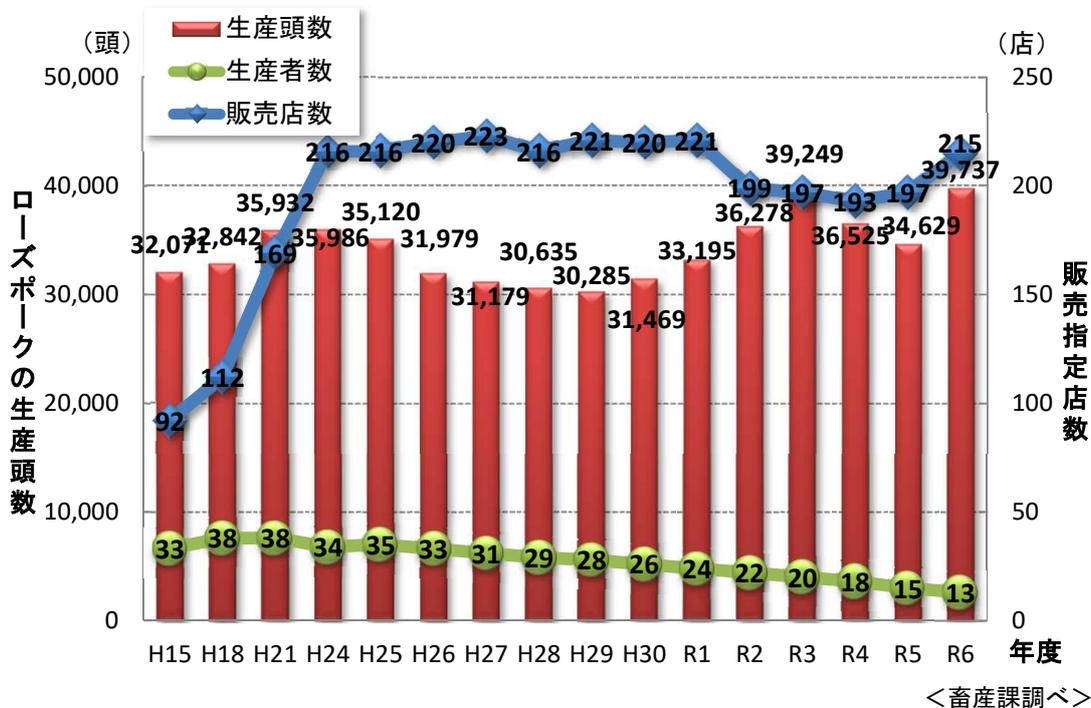
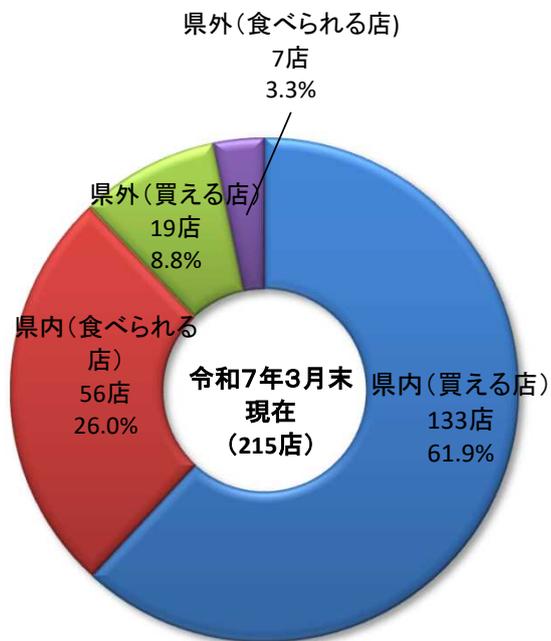


図2 ローズポーク販売店の内訳(令和7年3月末現在)



<畜産課調べ>

(4) 奥久慈しゃも

奥久慈しゃも(生産者団体: 奥久慈しゃも生産組合)は、血統要件や平飼いの飼養面積など厳しい条件をクリアした豊かな風味の地鶏です。

平成30年12月に、地鶏としては全国で初めて地理的表示(GI)保護制度に登録されました。

図1 奥久慈しゃもの生産羽数

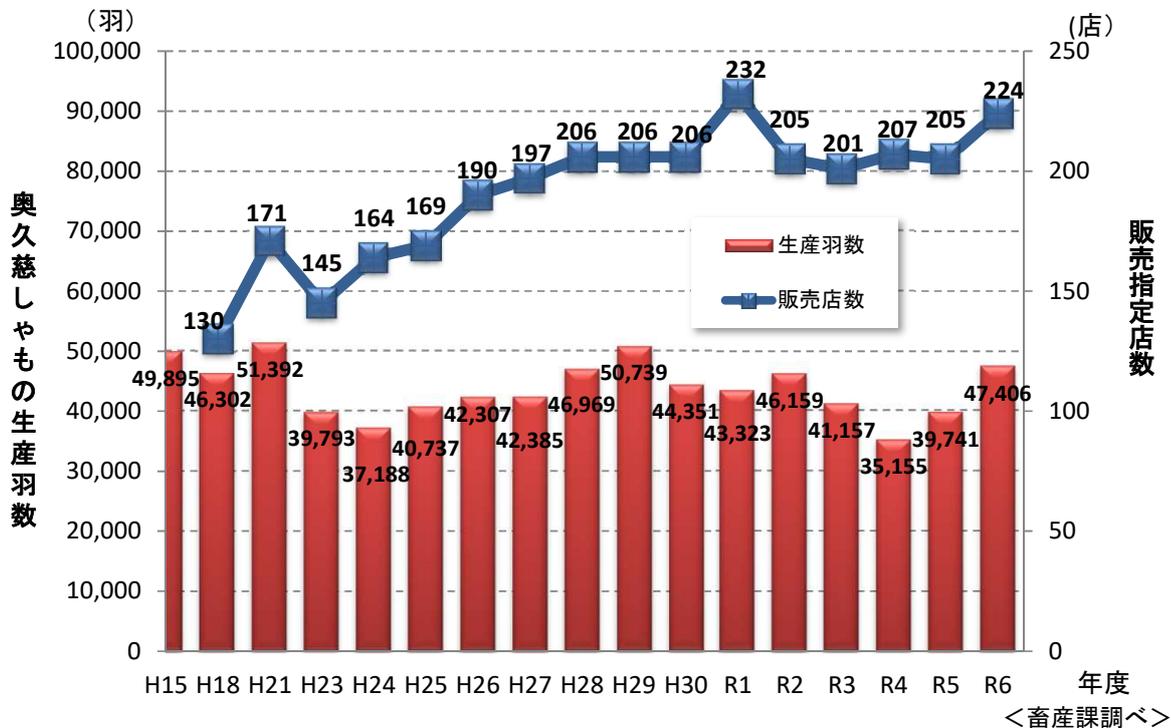


図2 奥久慈しゃもの販売店の内訳(令和7年3月現在)



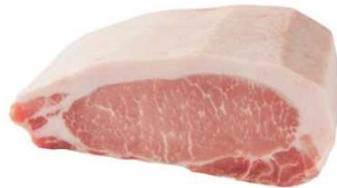
<畜産課調べ>

\* ~ \* ~ \* 茨城の銘柄畜産物 \* ~ \* ~ \*

<常陸牛>



<常陸の輝き>



<ローズポーク>



<奥久慈しゃも>



# 11 家畜衛生

表1 主な監視伝染病の発生頭羽数

年度	家畜伝染病										届出伝染病			
	炭疽	ブルセラ病	結核病	ヨ―ネ病	C S F (豚熱)	豚水胞病	H P A I * 1	ひな白痢	N D * 2	馬伝染性貧血	腐蛆病	気腫疽	豚丹毒	A D * 3
S47			1		52			11,886				114	-	-
S48			1			43						210	-	-
S49					26				2	25		178	-	-
S50			2				3			31		144	-	-
S51	1			2						11		38	-	-
S52	1			2						15		126	-	-
S53				4					1	34	4	23	-	-
S54		1	2	3					1	31	1	69	-	-
S55			1		1,333					9	2	381	-	-
S56				1	616			8,339		23		82	-	-
S57		1		1	799			33		10		165	-	-
S58										12	8	57	-	-
S59										25	6	51	188	-
S60								9,000		28	5	44	122	-
S61										34		23	9	-
S62			1							10	7	46	0	-
S63											1	177	282	-
H1										3		487	579	-
H2										5		160	0	-
H3										11		165	1	-
H4										6		91	29	-
H5										1	1	231	0	-
H6										21		61	0	-
H7										18		26	28	(3)
H8												33	5	(1)
H9				2						1		52	1	
H10										19		86		7
H11				7				79				65		13
H12				8				5,054		5		84	17	13
H13				8				303				74	54	6
H14				24								125		9
H15				31						1		118	14	7
H16				48								149		3
H17				11			40			26		139	2	
H18				43			6			9		93	9	12
H19				47						1		48	1	11
H20				10						4		48	1	11
H21				22						2		88		17
H22				8								125	3	14
H23				7						1		108		15
H24										1		142		28
H25				2						1		76		5
H26				4								36		7
H27				17						19		39		12
H28				2						2		74		17
H29				3						1		33	4	11
H30										3		55		16
R1				4								21		15
R2				8			80万			2		25		
R3				4	252		858			3		17		4
R4				11	6,899		430万			5		18		7
R5				6			7.2万					29		
R6				2			108万					188		

\*1 HPAI 高病原性鳥インフルエンザ

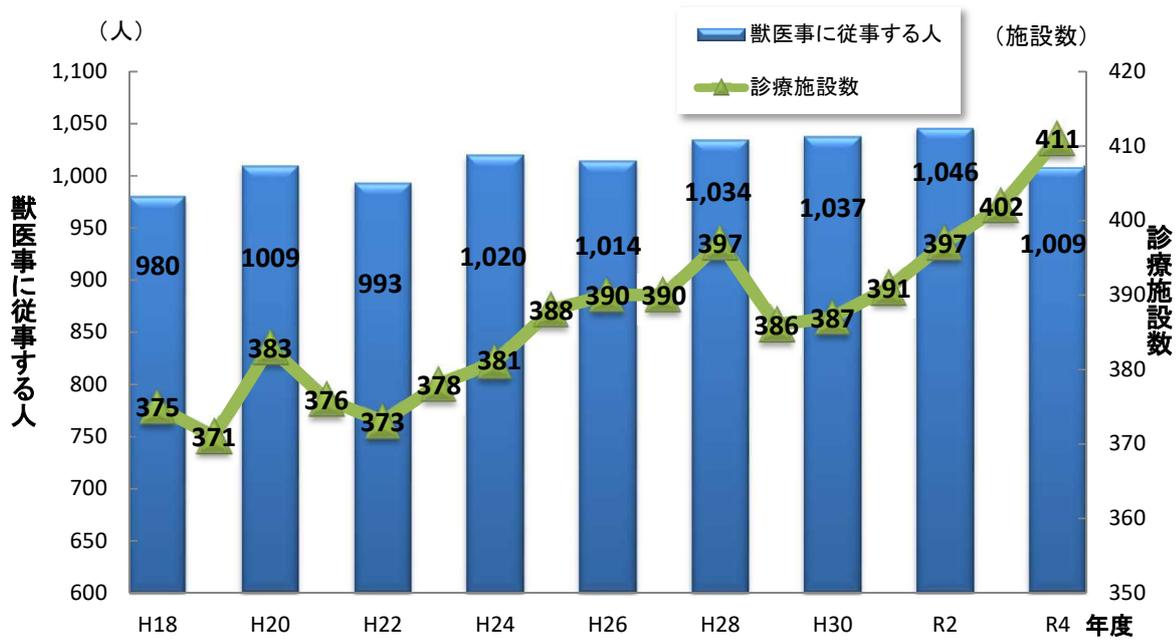
\*2 ND ニューカッスル病 \*3 AD オーエスキー病 S59年から届出伝染病に指定。

\*4 PRRS 豚繁殖・呼吸器障害症候群 H10年から届出伝染病に指定。H7～H9は家伝法第62条適用。

(注) 空欄は発生なし ーは家伝法適用外。

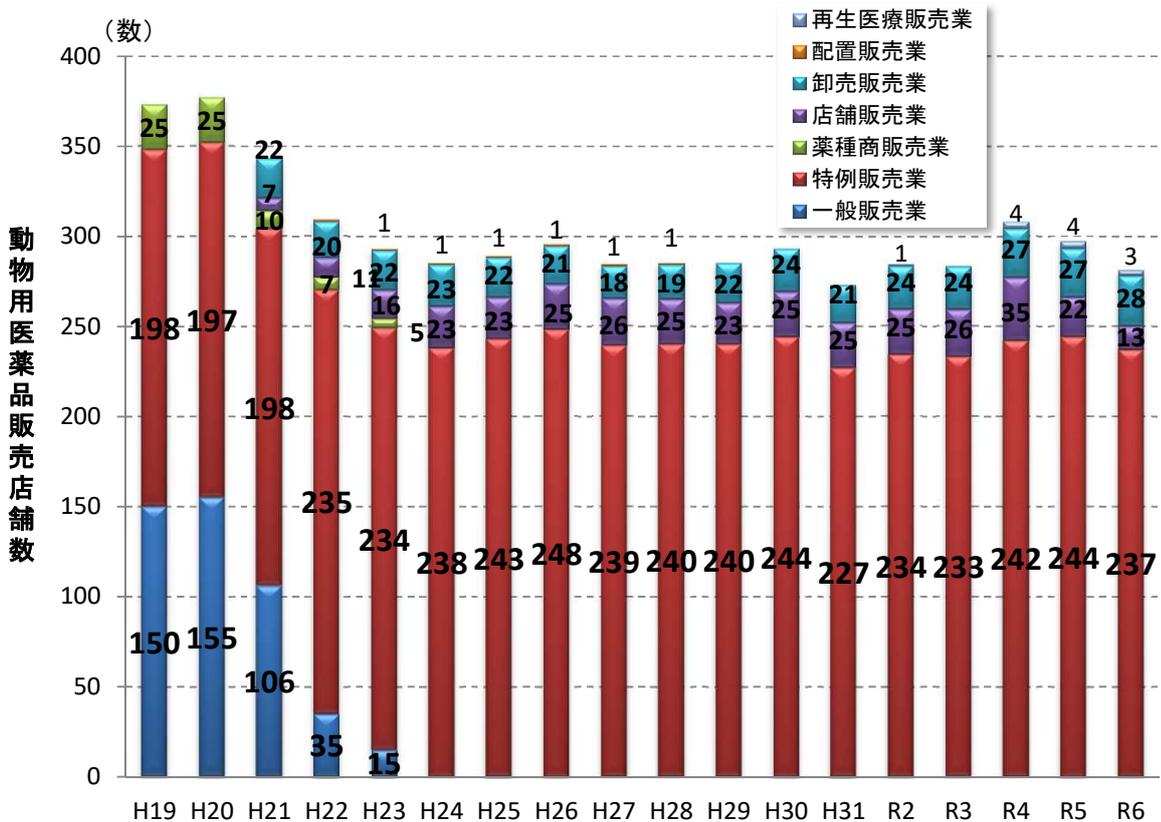
<畜産課調べ>

図1 獣医師及び診療施設数(茨城県)



<畜産課調べ>

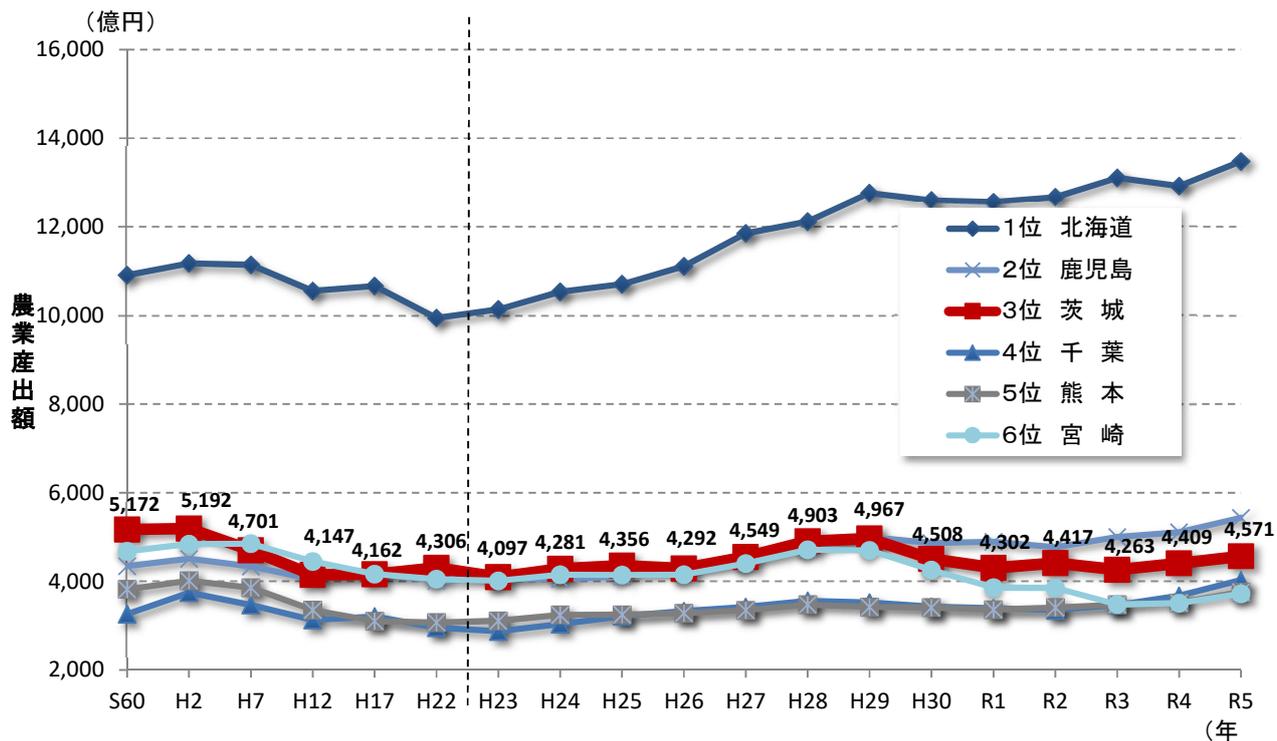
図2 動物用医薬品販売店舗数



<畜産課調べ>

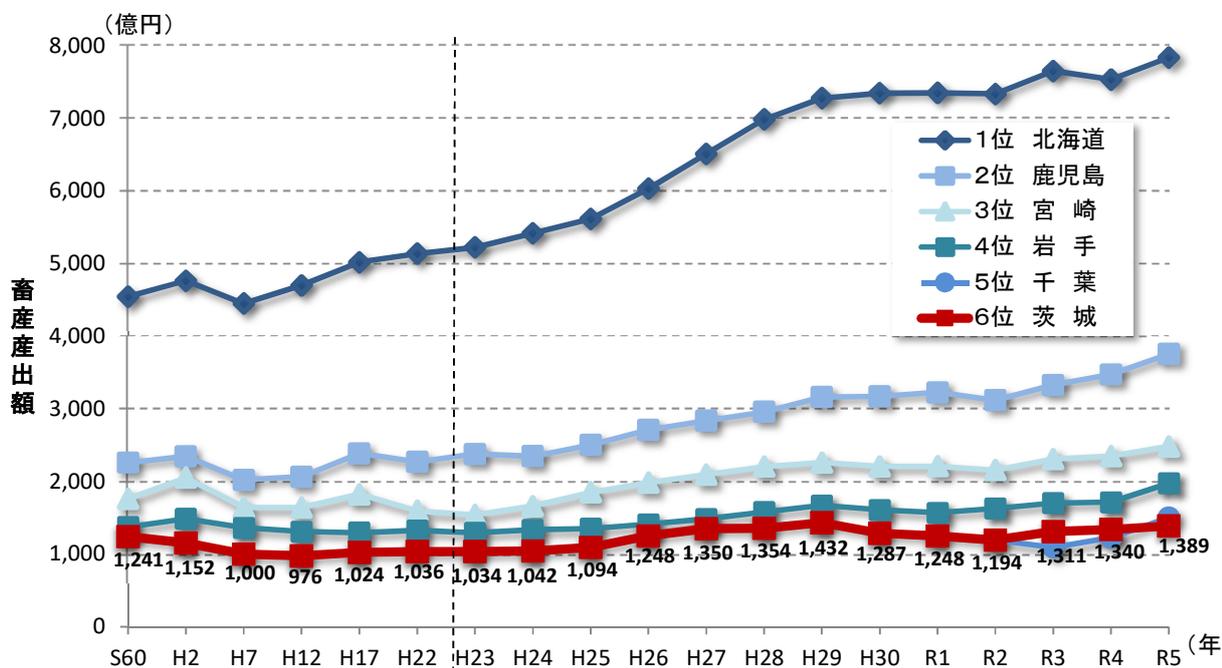
## 12 その他

図1 農業産出額の全国上位6道県



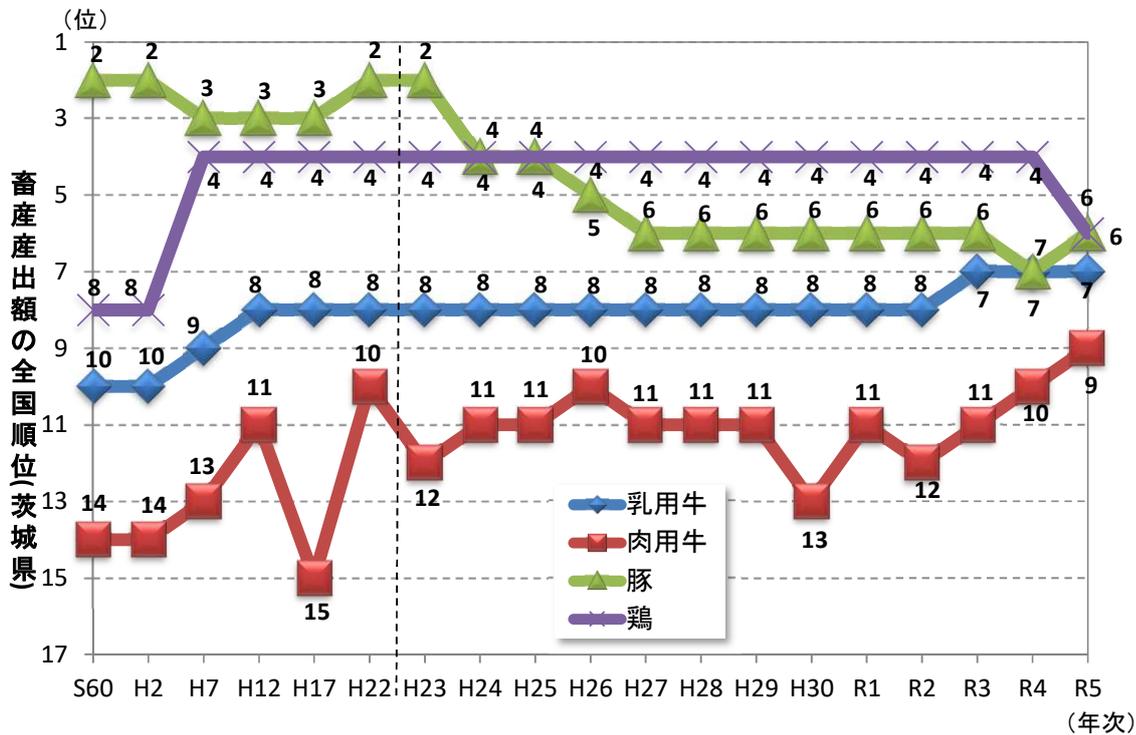
<農林水産統計(農業産出額及び生産農業所得(都道府県別))>

図2 畜産産出額の全国上位6道県



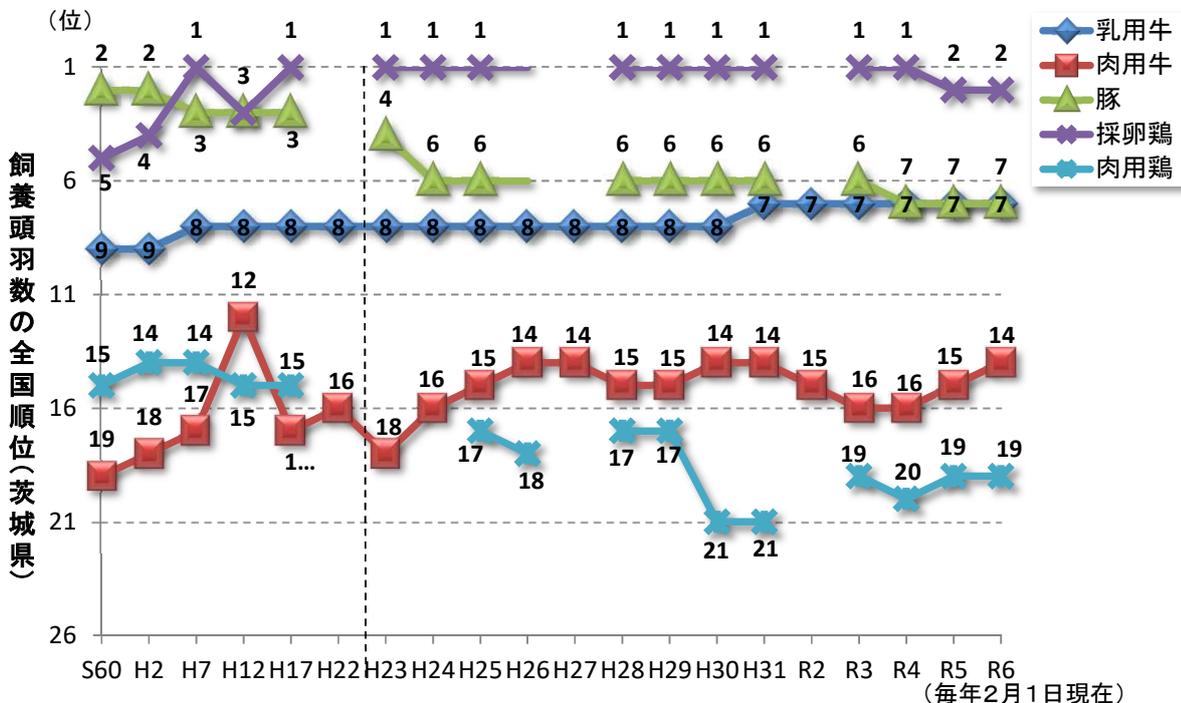
<農林水産統計(農業産出額及び生産農業所得(都道府県別))>

図3 畜産産出額の全国順位(茨城県)



<農林水産統計(農業産出額及び生産農業所得(都道府県別))>

図4 飼養頭羽数の全国順位(茨城県)



<農林水産統計(畜産統計)>  
平成22・27、令和2 豚・鶏の集計なし

水戸市笠原町978-6  
Tel 029-301-1111(代表)

【直通】

畜政G 029-301-3977

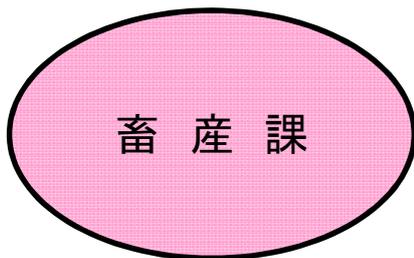
経営環境G 029-301-3988

家畜衛生対策室 029-301-3982

生産振興G 029-301-3993

【ファックス】

029-301-3999



- 県北家畜保健衛生所  
水戸市中河内町966-1  
Tel 029-225-3241  
Fax 029-224-6661
- 鹿行家畜保健衛生所  
鉾田市鉾田1367-3  
Tel 0291-33-6131  
Fax 0291-33-4494
- 県南家畜保健衛生所  
土浦市真鍋5-17-26  
Tel 0298-22-8518  
Fax 0298-22-7375
- 県西家畜保健衛生所  
筑西市新井新田42-4  
Tel 0296-52-0345  
Fax 0296-52-4870



- 畜産センター  
石岡市根小屋1234  
Tel 0299-43-3333  
Fax 0299-36-4433
- 肉用牛研究所  
常陸大宮市東野3700  
Tel 0295-52-3167  
Fax 0295-53-4490
- 養豚研究所  
稲敷市佐倉3240  
Tel 029-892-2903  
Fax 029-892-3384



- 県北農林事務所  
企画調整部門畜産振興課  
常陸太田市山下町4119  
Tel 0294-87-6680  
Fax 0294-80-3304
- 県央農林事務所  
企画調整部門畜産振興課  
水戸市柵町1-3-1  
Tel 029-231-0476  
Fax 029-225-9254
- 鹿行農林事務所  
企画調整部門畜産振興課  
鉾田市鉾田1367-3  
Tel 0291-33-4118  
Fax 0291-33-4264
- 県南農林事務所  
企画調整部門畜産振興課  
土浦市真鍋5-17-26  
Tel 029-822-8521  
Fax 029-822-7345
- 県西農林事務所  
企画調整部門畜産振興課  
筑西市二木成615  
Tel 0296-24-9166  
Fax 0296-25-0018

